02 Commercial Course

商業科 専門的なビジネス教育と高いキャリア意識の育成

コミュニケーション能力を育成し、円滑にコミュニケーションを行うことを可能とするビジネスマナーを身に付けます。
また、地元イベントへの参加や商品開発・商品販売などを通して、「何を知っているか」だけでなく、その知識を使って「何ができるか」まで学びます。

1年次 商業の基礎・基本

生産者 → 流　通 → 消費者

マーケティング、法律、簿記、情報処理など
ビジネスに対する心構え、接客、コミュニケーションなど

□ ものを生産する人とそれを消費する人とをつなぐ流通を学びます。
□ ビジネスを円滑に行うために必要な心構え、接客、コミュニケーションなどについて学びます。

2・3年次 より専門的な分野を学ぶ

商業の各分野をより専門的に学びます。

マーケティング分野

何が売れるか、どうすると売れるかなど、流通や販売を行うために必要な知識を身に付けます。

ビジネス経済分野

経済社会の動向や法律など、ビジネスを行うために必要な知識を身に付けます。

会計分野

簿記や会計など、企業が活動するために必要な知識や技術を身に付けます。

ビジネス情報分野

コンピュータの活動など、合理的に仕事を行うために必要な知識や技術を身に付けます。

取得可能な主な資格など

- 全商情報処理検定１級
- 全商商業経済検定1級
- 全商電卓検定1級
- 日商簿記検定2級
- 実用英語技能検定　等
- 全商ビジネス文書事務検定1級
- 全商簿記事務検定1級
- 日商販売士検定3級
- ITパスポート試験

03 Mechanics Course

機械システム科 実践力の高い技術者・スペシャリストの育成

最新の産業ロボットや自動機械装置などを用いた学習を行い、機械系だけではなく電気電子系の学習も行います。
また、土木系を希望する生徒は、2・3年生で土木系科目を選択履修できます。
以上の学習を通じて習得した技術や知識を、ものづくりの現場において実践できる技術者の育成を目指しています。

1年次 工業技術の基礎・基本

理数系科目を重点的に学習し、工業科目の基礎・基本となるものづくりの技術・知識を勉強します。

専門科目	工業技術基礎・情報技術基礎・工業数理基礎・機械工作

2年次 より実践的な技術を学ぶ

ものづくりを中心とした実習を軸に専門科目を学習し、より高い技術・知識を身に付けます。

専門科目	生産システム技術・機械設計・土木基礎力学・測量・製図・実習

・土木系科目の選択授業は、2年生及び3年生とも、定員（上限）は原則16名とします。これは、実験・実習装置の数や実習時の安全性、教育の充実を考慮して決定しました。
・選択科目は、選択後に変更はできません。
・土木系科目を選択しても卒業学科は機械システム科です。
・選択科目は、選択希望、進路希望、適正等を考慮し決定します。
・土木科目選択希望数が定員（上限）を超えた場合は、面談により調整を行いますが、調整が困難な場合は、入学後の成績により決定することがあります。

3年次 進路実現に向けた専門的な勉強

機械系、電気電子系・土木系の学習を通じて、進路に合わせた実践的な勉強をします。

専門科目	課題研究・材料技術基礎・電気基礎・土木施工

取得可能な主な資格など

- 情報技術検定
- 計算技術検定
- パソコン利用技術検定
- 基礎製図検定
- 機械製図検定
- 技能検定（普通旋盤2級・3級）
- 技能検定（機械検査3級）
- 危険物取扱者（甲種・乙種・丙種）
- ボイラー技士2級
- ガス溶接技能講習
- 小型車両系建設機械特別教育
- 実用英語技能検定
- 測量士補
- 2級土木施工管理技術検定学科試験　等